

令和 8 年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立島根小学校 校長 世取山 哲哉

1 学校教育目標

- ①考える子：様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
- ②心豊かな子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- ③たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館3つの役割について

重点取組 (◎)	読書センター	学習センター	情報センター
現状の課題	・本を自ら読む児童が少ない。 ・中・高学年になると、本を借りる機会が少ない。	・図書館にある資料を用いて、調べる学習をしている回数が少ない。	・0～2類の蔵書が少ない。 ・児童自らが資料を探して調べる機会が少ない。
今年度の目標	全校で昨年より貸出冊数が増えるようにする。	・全学年年間5回以上は図書館の資料を用いて、調べる活動を行う。	・蔵書を見直し、0～2類の割合を考慮し、選書を行う。 ・自分で必要な資料を探し、調べることができる。
重点取組	・各学年年間目標冊数を決め、達した児童には年度末賞状を渡す。 ・年間目標冊数に達成することができるよう、毎月の貸出冊数を決める。 ・毎月全クラスの貸出冊数を集計し、どのくらい貸出しているか視覚的に分かりやすくする。	・1・2年生は図書の時間以外にも活用する。 ・中・高学年は図書の時間は確保されていないが、空き時間を活用して行う。	・オリエンテーションを全クラス行い、分類場所を把握させる。 ・児童が使いやすい図書館にするために、図書館支援員に整備をお願いする。 ・様々な資料に触れられるよう、資料を増やす。
成果目標 (達成基準)	・児童一人あたりの年間貸出冊数 120冊	・図書館資料年間活用数(全クラス) 5回以上	・オリエンテーションを全クラス実施する。 ・図書館支援員と相談しながら、使いやすい図書館を運営する。
達成状況 (年度末に記載)			

3 図書館運営計画

	読書センター	学習センター	情報センター
日常的な取り組み	・各学級読書時間の確保 ・図書の年間活用計画を周知する。	・図書の年間活用計画を周知する。 ・年度末に活用した単元を報告する。	・選書・廃棄の計画
主な行事の取り組み (図書委員会含む)	・読書旬年間2回 ・教員による読み聞かせ(年2回) ・図書委員会イベント(大型本読み聞かせ、福袋等)	・校内研修で調べる学習のまとめ方について扱う。 ・中・高学年は夏休み前に調べる学習のまとめ方について学習する。	・オリエンテーション
環境整備の取り組み	・展示や掲示の計画	・授業展開するための整備 (ホワイトボード、モニター等)	h
司書・外部との連携	・図書館支援員に掲示、展示の仕方を依頼、相談する。 ・各月の貸出冊数の把握	・授業者との連携 ・SLSに研修会の依頼	・オリエンテーション依頼 ・選書・廃棄の依頼 ・資料の展示依頼

実践の評価(年度末に記載)

--

4 学校図書館を使った「調べる学習」計画(国語及び他教科)

学年・専科	内容(教科「単元名」)	結果	内容(教科「単元名」)	結果

1年	国語「どうぶつの赤ちゃん」		生活「みんななかよくなろうね小さなともだち」	
2年	国語「お気に入りの本のしょうかいをしよう」		生活「めざせ生き物はかせ」	
3年	国語「すがたをかえる大豆」		社会「農家のしごと」	
4年	国語「未来につなぐ工芸品」		総合「未来予想図」	
5年	国語「みんなが使いやすいデザイン」		理科「流れる水のはたらき」	
6年	国語「デジタル機器と私たち」		総合「SDGsについて調べよう」	

追記および実践の評価（年度末に記載）

--

5 学校図書館全体に関する自校の取り組みの評価（年度末に記載）

--

※各校作成の令和8年度「学校図書館年間計画」の添付をお願いします。